時事新報

第二千五百五十四號
明治廿三年二月三日　月曜日
舊曆己丑閏十二月十四日(乙卯)
(西曆一千八百九十年)

時事新報定價

時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價並ニ廣告料ハ左ノ如シ

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓
〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日幷に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ずる此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に貼用する郵便印紙の代價を申受く可し

時事新報

外資吸收を謀る可し(一昨日の續)

內の金融切迫に際し政府が斷然意を決して諸種の公債證書を外國人の所有賣買するに任じ多少を問はず外資吸收の道を開くは目今緊急の便法にして之を實地に施行したる上、目的通りの結果を得れば我が金融を緩和して効驗赫著なることとなるべく若し又案外不出來にして其目的を達せざるも本來事に害なきが故に我が財政の當局者は試に之を實行して其成否を卜して可ならんのみ　近時歐米各國の商政を察するに商業次第に發達して資本の總額增加するに隨ひ其金利は次第に減じ取引繁昌して基礎の堅固なる銀行にては其預金に對して利子を拂はず又各國公債の利子も益々低減するを以て近年各國政府に於て整理公債を發する者多く英國政府は出納將書ゴッシェン氏の斡旋を以て千八百八十八年度(明治二十一年)より三朱利附きの公債を二朱半利附に交換し其利子額を減ずると凡そ百萬磅に上り爾後引き續きて此商政略を施行す可しと云ひ露國も亦同年度に整理法を施行して四朱半以上利附の公債を四朱利附に變更せり又北米合衆國政府は千八百八十九年(明治二十二年)レパブリカン黨政權を得てハリソン將軍大統領に就職の後は國庫餘剩金を以て公債償却を實行するの方向を取れり之を要するに近年各國政府の處置は或は公債額を減じ或は其利子を減ずるの傾にして歐米市場には目下金利の次第に低減するの勢を見る可し抑も資本の性質は其利子の高き處に流るゝを常とするが故に各國政府が整理公債を發し又は其國債を償却するの際には資本主も亦其利子の低下に驚き少しく商政の考あらんものは此低利の公債を離れて別に其資本の奉公口を求めざる者なし然るに今の實業社會は器械の利用、人力の節儉、殘る隈なく行はれて製造業は產額を增し唯其賣口を得ざらんことを恐れ鐵道運河礦山等凡そ大資本を要する事業は人力已に加はりて殆んど手を下す所なく資本口入れの當局者は其奉公口を見出すに苦しむ最中にして目下歐洲諸國にて大資本を持ちたる者は往時我が舊藩士が次男三男打揃ふて幾多の男子を持ちたると一般、其行先きの始末するに當りて適當なる片附け口なきに困じ果て殆んど當惑する程の次第あり左れば近時歐米の資本家は其大資本を片附けんとして絕大冒險の事業を企て銅塊買占策と云ひ石炭砂糖の專賣と云ひ豫め世界の砂糖製造家、銅石炭礦主と約し向ふ幾年間の產出額を唯一手に左右せんとする者あり即ち銅塊買占策は佛國商人之を試みて既に成功を誤まりたれども砂糖石炭專賣の如きは今や其成否を豫算する最中にして此外近來英國にては鋼鐵買占策を發言したるものさへあり資本の增加人情の向ふ所、以て見る可きなり又近年各國にて會社の Amalgamation(アマルガメーション)合體の議米國にてはッラスト システム(と云ふ)と云へると各種の間に行はれ從來小會社にて各自同業を營みたる者が合同歸一して次第に其會社の數を減じ以て各自の競爭を絕ち其利益を維持せんとする者にして英國にては近來內地鐵道會社の間に於て之を實行したる向きも少なからず又一昨年中は英國の三大電話機會社、ナショナル電話機會社、ユウナイテッド電話機會社(ナエシャ電話機會社)合せて一千萬磅の一會社と爲り所謂合體の相談を整へたりと云ふ又炭坑會社にても昨今合體を唱ふる者多きが故に行く〳〵其實行を見るの日あるべく斯くて此會社合體の風は次第に歐洲大陸にも吹き入り近來新聞紙上に於て每度其評判を聞くに至れり扨て此會社合體の緣起は詰り資本の增加にして少しく見込みある事業には資本家が爭ふて其資本を投じ今鐵道の例にて云へば同じ都府と都府との間に三筋も四筋も線路を作り互に相競爭して共倒れの勢を爲すが故に其會社を聯合して各自競爭の不利を去り又之を合體するが爲めに營業管理の手數を省き隨て其費用を減ずるの目算に出づることなり其他歐洲諸國にて利子に促えたる資本が南北亞米利加に濠洲に爭ふて走り出る趣は雪中の餓虎が餌を索めて山を出づるの有樣にも喩ふべく特に近時歐洲各國の商政新聞雜誌を見れば亞弗利加地方の企業に關して會社の勃起すること著く日として紙上に其廣告を見ざるはなき程なり孰れも資本の增加して歐洲中に好き職業を得ざるが爲め爭ふて他國に出稼するの結果にして一種の語を用ふれば之を資本の移住と云ふも可ならん資本他國に移住して不知案內の旅の空に敢て危險を冒さんとする其處に借用主は日本政府、間違ひのなき公債證書が坐ながら五朱以上の利子を生ずるを見たらば彼の國々の資本主は流涎三尺直に之を所有せんとするとならん或は我國が東洋に在りて彼の資本家等が事情を知らず公債證書の割合よきを見て牡丹餅の中に針はなきや容易に手を觸る可らずなどとて妄りに掛念するものもあらんかなれども廣き西洋國人中には日本の事情に注目して其財政等の模樣をも探り其公債證書に對して敢て掛念せざるものもあらん我輩は其結果の如何を問はず政府が斷然意を決して彼の海外諸國人をして一切の內國公債證書を所有せしめ又之れを賣買せしめて彼等の資力を吸收し之れを我が社會に散じて金融開通の一方便に供せんこと偏に希望に堪へざるなり　(完)

雜報

○會計檢査院長の演說(一昨日の續き)

予昨年某日に對し論せしことあり曰く晩近官廳の土木漸く其盛を加ふるものゝ似たり夫れ各官廳舍の如き其事務執行の上に於て妨碍する處なきに止めて可なり何ぞ復た巨萬の資財を擲ち以て粉飾を事とせんや國會議事堂の如きも亦然り寺院を假用するも可なり山林原野に帳幕を用ふるも亦可なり獨逸の自由は山林より生ずと云ふに非ずや此言稍や奇激に渉るが如しと雖とも其實決して然らざるなり予嘗て某地方を巡回するに當り各縣恰かも縣會の開期に際せり依りて試みに往きて之を觀るに某縣の如きは議場廣大壯飾美麗なるも其議事輕佻多くは空理に馳せ實際に背戾するの憾なき能はず又某縣は全く之に反し議場の周圍は席筵を張り入れば則ち蹲坐に顚磨せんとするが如き古剎を假用し其觀の美を缺く固より前縣を以て比すべきにあらず而して其議事を聽くに及びて却て其議論井然秩序あり實際を先にし空理を後にし最も其妙を覺えしことありき夫れ此の如し苟も內其實あらば何ぞ外其觀を飾るを須ひん故に政府及議院の建築の如きも力めて其虛飾を去るを要す何ぞ復た其外觀の壯盛を事とせんやと嗚呼政府必を此に存し萬般此方針に由り以て之を行はゞ則ち內部の整理を欲せざるも豈得べけんや

夫れ無益の資費を支出し不急の事業を興し徒らに繁縟の事務を生ずるが如きは其國會無しと雖も固より眞心に恥ぢずんばある可からざるなり若し內其眞心に恥づる所あり外か國會に對し彼の籠絡の手段を用ひんとするも人心面の如し豈之を一網中に打住し盡すを得んや其極唯無益の巨資を濫費し終に其計畫の蹉跌を悔ゆるに至て止まんのみ然らば則ち政府が國會に對する處の行爲如何せば則可ならん他なし唯無要の費途を愼み不急の事業を避け繁縟の事務を除き以て彼の眞心に恥ぢざる處の事を行ふに在るのみ

政府の處爲果して能く此の如く而して帝國議會は何徒ら事を好み議權の區域を超越して濫りに行政上の是非を鳴らし國安に關係するが如きことあるに至ては國憲上自ら大權の存するあり亦何ぞ之を制裁する所以の道なきを患へんや

試に思へ我帝國議會は果して如何なる起因ぞ伏惟みれば我叡聖文武なる天皇陛下は客歲二月十一日を以て二千五百有餘年來其祖宗に承けさせ給ひし所の大權に基き和氣靄然人民歡呼中に此至神至聖の憲法を發布し以て其大權の一部を割き我臣民に惠賜し給へり陛下の至聖至仁なるに非ざるよりは安ぞ能く此に至らんや之を彼の干戈に訴へ騷亂流血の餘其權利を得たるものに比すれば其差豈唯天淵のみならんや苟も我帝國臣民たるもの誰か天恩の厚きに感泣せざるものあらんや是れ余の國會を以て危險恐るべしとなすを解せざる所以なり然りと雖も此に戒心せざる可からざるものあり曾て之を各國の史蹟に徵するに立法行政の兩權常に軋轢し遂に氷炭相容れざるもの其例少しとせず故に我會計檢査院は嚴然其中間に屹立し公明至正の中道を執り毫も偏倚する所なく以て內ち政府をして其內部財政の整理に怠らしめず外か國會をして政府を信ずるの厚きに至らしむるは實に我會計檢査院の當務たり其責任豈重からずや

嗚呼我會計檢査院責任の大且重きと此の如し吾人豈其れ以て此責任を全ふする所以を思はざるべけんや夫本院の職たる豈啻ゞ毫厘を爭ひ錙銖を論するを以て目的となすものならんや必ずや公明至正の心を以て公明至正の事を行ひ彼の行政官吏をして法規を恪み勤儉を旨とし國家の福利を增進せしむるを以て目的となさゞるべからず因て望む諸君宜しく同心協力各自本分の職任を守り復他の務を問はず本院全體の責任を擧ぐるを期すべし余當に以謂らく凡そ人の世にあり事を處する須らく一向專念ならざるべからずと蓋し所謂一向專念とは誠意事を執るの謂にして人生萬事總て此理に依らざるを得ず故に凡そ事業の舉否責任の盡不盡皆此一歸の中に存せり孔子の治國平天下を以て之を誠意正心に歸する所以のもの豈其れ偶然ならんや時に古今の別あり事に精粗の差ありと雖とも誠正治平の順序は萬世易ふべからざるものとす然るに今世人の爲す所多くは之に反し自家本分の職務を捨てゝ徒らに他人の事を是非し放論橫議至らざる處なし是れ余の太だ取らざる處なり諸君請ふ宜しく此旨を體し擧々精勵各自本分の職務を盡し以て本院至重の責任を全ふすべし是れ余の諸君に對し切望して已まざる所なり

前說は唯余が平生信する處の理を述べ以て諸君の一考を煩はさんとするものなり而して余諸君の參に既に前說の精神を履行するの實あるを見る何を以て之を言ふや曰く我院前行務年度中の事務成蹟に依るのみ今其梗槪を擧れば各廳より領收若くは其檢査したる決算帳內譯書諸證書其他答辨照會回答等の冊數二十七萬餘にして其證書の數を算すれば無慮四百五十八萬餘とす而して其檢査及處分の上各廳へ發送せし認可狀通達通知推問照會書等一萬三千百餘冊中に就き推問通知の件數を算すれば七千五百餘にして自餘院中の庶務に屬するもの實に千百のみならず蓋し此の如き許多の員數にして加ふるに錯雜紛碎の事項掛も少なからざるにも拘はらず僅々百餘の人員を以て能く之を措辨せしは則ち諸君竭力精務最も至れりと謂はざるべからず是れ余が實に感歎措かざるのみならず更に我院の爲め余は諸君に對し其勞を謝せざるべからざるなり嗚呼諸君の勞や既に多し諸君や既に殆と其任を盡したり故に復た諸君の勉力を慫慂するを要せざるが如し然り而して我院今日の地位に在ては百尺竿頭尙一步を進むるを期せずんばあらず抑本院は前項既に屢說述したる如く嚴正至公の心を行ふを第一とす故に其院內行務の如きも其順序を踐むに於ては公然上下內外に發表し其機密に屬せざる事の外は之を見んと欲する者あれば明かに之を示し之を問ふ者あれば直に之に答へ以て我が公明正大を徵證せざる可からず於是乎則ち其檢査事務の如きも及ぶ所其進度を高めんことを力め且つ以て上下內外をして我院の責務を盡せるを信せしめんことを期するなり余請ふ諸君と與に之を勉めん

終りに臨み尙一言を要するものあり余曩日歐洲巡視の際獨逸國に於て該國會計檢査院の官吏にして尤も余の敬愛せる某氏一夕談話の次余に謂て曰く某構に數年間國會に向ひ報告の事を擔當したり而して國會閉會の後に至り其會の政府に返還せしものを觀るに之れに添付せし或る書類の如きは封緘依然として存し遂に緘閱せし所あらざるが如し國會亦迂ならずやと余對へて曰く否々嗚呼是れ國會其政府を信するの篤き其此に至るか其此に至る所以のものは會計檢査院も亦與りて大に力あるにあらずや國會にして若し政府疑ふべしとすれば何ぞ其書を細論し以て其批難の點に注目せざらん會計檢査院信ずべからずとすれば何ぞ其隱蔽私和の跡なきや檢査缺精の實なきやを審査せざらんや然るを事此に出でず其一閱の勞をも之を執らずして以て之を還付するもののあるに至る其政府及會計檢査院を信用するの深く且つ篤きにあらずんば何ぞ能く此の如くなるを得んや切に望む諸君力を我院に竭し終に上下內外の信用を得るみと亦此の如き結果を得せしめよ是れ余が將來に企期して止まざる處あり果して此の如きの日に至り始めて余が希望する盛大の祝宴を開張し諸君と共に更に我院の爲め又國家の爲め大に之を賀せんと欲する所なり諸君目を拭て之を俟て　(完)

○預金總額　大藏省預金局に於て郵便貯金及び其他人民よりの預り額は二千八百零四萬八千七百八十七圓二十二錢三厘なりと

○廣嶋縣會と藝備日々新聞　廣嶋縣會は曾て會議中藝備日々新聞が一篇の寄書を揭げたるは縣會を誹毀したるものなりとて遂に起訴したるが訴訟の公判は一月三十一日と決定し居りしも都合に依り來る九日に延期したりといふ

○庚寅新誌　一兩年來續々發刊したる雜誌類も近頃は漸く淘汰されつゝある折柄府下芝公園地第八十四號庚寅新誌社にては來る十一日の紀元節を以て庚寅新誌第一號を發兌し以後每月二回づゝ續出する由にて政治經濟文學實業等社會に現出する凡百の事件を論評して江湖に相談するの目的なりといふ

○顧問官雇入　大藏省にては今回帝國大學敎師ニッゲルト氏を顧問に雇入れたるを以て氏は大學敎授の餘暇一週一回宛同省へ出頭する事になりしと

○磯部四郎氏の辭表　大審院檢事磯部四郎氏は富山縣下に歸省して大に大同團結の主義を贊成し熱心に政治社會に雄視せんとの決心にて此程司法省より同氏の起草に係る相續法に關する件に付歸京すべき旨を達せしに氏は直に電報を以て辭職を申入れたるやの聞あり

○鵜澤榮一氏　輕症チフス症に罹り久しく大磯にて療養中なりし鵜澤榮一氏は最早や全快に赴き一昨一日歸京したる由なり

○山本達雄氏の送別會　日本郵船會社東京支店副支配人たりし山本達雄氏は今度日本銀行へ轉任したるに付同社の重役を始め東京本社員及び橫濱支社員共都合百四五十名の人々一昨々日向嶋枕橋の八百松樓に於て同氏の爲め離別會を催し餘興には蘆洲の講釋今助の落語等ありてなか〳〵盛んなりしと云へり

○新州を設くるの議　合衆國上下兩院は去年々末開塲して一時休會したる後去る一月六日より再び議事を始めたり其議案の中に議員某氏が呈出せし新たに四箇のテリトリーを州に加へんとの議あり即ち其地はアリゾナ、ワイオミング、ニューメキシコ及びアイダホにして殊にアイダホの如きは既に州の憲法草案も成就し知事を始め請願委員若干名華盛頓に滯在して其許可を待ち居り然るに同地のモルモン宗徒は新憲法草案の文面が一夫多妻の同宗旨に不利なる所ありとて其許可に反對することと頗りあり左れども右四テリトリーの內ワイオミング及びアイダホの二は多分當季の國會中に許可せらるべしと云ふ

○歐洲の流行病　目下歐洲全土に蔓延するのみならず米國にも侵入して其勢頗る猖獗なる流行感冒は今度始めて流行せしものにあらずして之より前數度歐洲に流行し千八百四十七年に現はれたるものを最近とし千七百六十二年より同年迄に六回も起りし由にて大抵亞細亞に發病し夫より歐洲を經て西方に蔓延するものゝ如し今回流行病の進路も目下の模樣に從へば先づ右と同一轍にして最初露國の東境にある東洋國より發生して路に進入し漸次全歐洲に傳はりしに相違なし云々と近着の英字新聞に見ゆ

○米國の流行感冒　歐洲の流行感冒次第に蔓延して其上死亡の割合大に增加したる由は既に揭載せり茲に又合衆國內に蔓延せし同病に付ての最近報を見るに紐育にて一月五日正午より翌六日正午まで二十四時間は百四十五人前二十四時間と比すれば殆んど百人の減少にて既に其盛りは經過したるならんとの評ありフィラデルフィヤにては巡査のみにても同病に臥す者二百三十人ありボストンにては同病の爲めに休業中の公立學校の生徒千九百人每日の死亡前代未聞の大數あり華盛頓にては大藏卿ウインドム氏を始め國會議員其他の內に不快のもの少なからず云々

○本年度の愛知縣會　當二十三年度の愛知縣通常會は昨年の水害、縣知事の交迭等にて開會の期意外に延引せしが兼て電報に依て記載したる如く彌々去る一日より開設せり當日は新知事白根專一氏係官を率ゐて出塲し議員に向ひ下附の議案に對し十分審議を盡して縣下の福利を圖るべしとの意を述べたり扨て其議案の豫算は郡市聯帶のもの金十二萬八千五百九十三圓七十一錢七厘、同郡部三十四萬三千七百九十八圓九十五錢二